

電磁波とゼロ磁場について

— Electromagnetic wave & HEALING ZERO FIELD® —

電磁波とは

電磁波とは、電気と磁気の両方の性質をもつ「波」を指します。電気の影響が及ぶ範囲を「電場」といい、磁気の影響が及ぶ範囲を「磁場」といいます。この電場と磁場が相互して影響しあうことで『電磁波』が作られます。電気が流れたり、電波の飛び交うところには、必ず何らかの電磁波が存在しています。



着実に増えつつある…『電磁波過敏症』

電磁波過敏症とは、電磁波を浴びることで体が敏感に反応する症状のことです。科学的に認められているものではありません。また、日本ではまだ認知されていないのが現状です。しかし、スウェーデンやドイツ、デンマークなど、ヨーロッパ諸国では、社会的に認められつつあり、スウェーデンやデンマークでは公的保険対象として治療が進められています。

電磁波過敏症の症状



頭痛やめまい



倦怠感



皮膚炎



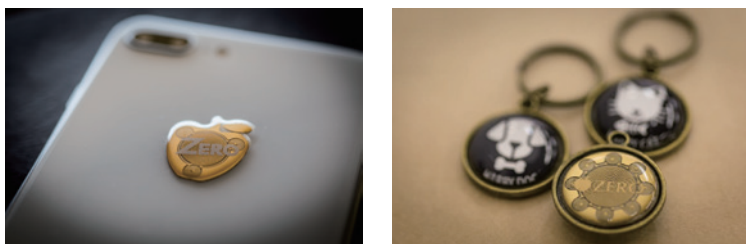
目の疲れや痛み

電磁波と向き合う事が大切

電磁波被害を無くす為とはいえ、今や便利な電気製品が無い状態で生活していくことは困難です。そして現代の技術では電磁波を完全にカットすることは技術的に不可能といえます。電気製品から出る電磁波とうまく付き合い、自分の身は自分で守りながら生活していくことが、これから先の時代には非常に大切になってきます。

真逆の発想から生まれた『ゼロ磁場発生回路』

弊社では従来の電磁波をカットや遮断することとは真逆の発想で、電磁波を活用することができる新しい技術『ゼロ磁場発生回路』を開発しました。ゼロ磁場発生回路により空間に飛び交う電磁波を活用して人工的に『ゼロ磁場』(左記参照)を発生し、心身をより良い状態で保つことができます。



ZERO 磁場発生基板 ※画像は ZERO Basic と ZERO PET® Charm です

ゼロ磁場発生回路の仕組み

ゼロ磁場発生回路は電磁波受信アンテナと逆位相コイルの2つからなる平面回路です。*空間に飛び交う電波や電磁波を受信アンテナで吸収し、電流として逆位相コイル内へと流します。逆位相コイルは右巻きのコイルと左巻きのコイルが対になっており、中心部で交わる構造になっています。そして、ふたつの電流がぶつかり合うことで互いに干渉し、癒しの空間である『ゼロ磁場』を発生させます。

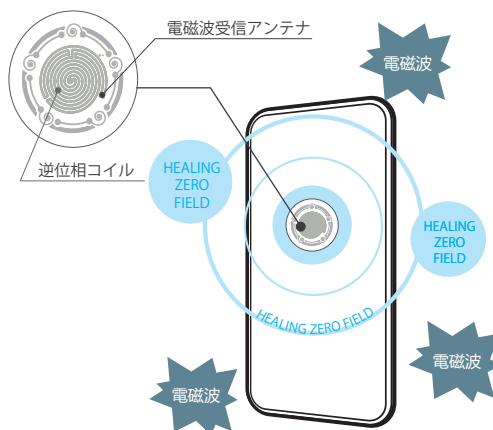
※ゼロ磁場発生回路は商品によって素材や仕様が異なります。

ゼロ磁場とは



ゼロ磁場は、心身が癒され美味しい水が湧き出ると言われるエネルギースポットを指します。国内では全国的に有名な長野県文坑峠(上記写真)がゼロ磁場スポットとして注目を集めているほか、パワースポットとして有名な伊勢神宮や諏訪大社をはじめとする多くの神社や仏閣もゼロ磁場が発生していると言われていています。通常ゼロ磁場は地面奥深くの断層の影響により自然界に生まれるものですが、弊社では独自の技術により人工的にゼロ磁場を作り出しています。

ZERO のイメージ図



ゼロ磁場におけるメカニズムと検証

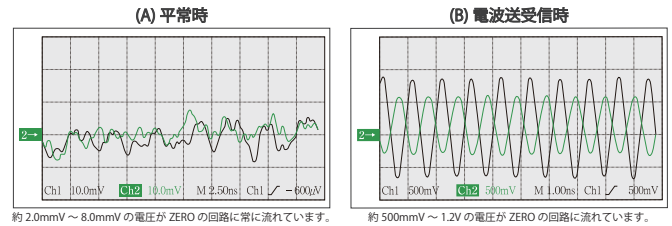
— HEALING ZERO FIELD® Mechanism and verification results —

ZERO 磁場回路内の電圧測定

ZERO に流れる電圧の測定を行いました。携帯電話を使用し、平常時 (A) と電波送受信時 (B) でそれぞれの結果を比較しています。

→この実験を通して ZERO は電波や電磁波を受信し、ZERO 磁場を形成していることがわかります。

測定機器：ソニーエレクトロニクス TDS5684A/2001.10 サンテック(株) 開発部実験室



生体ストレス軽減効果試験

健康なモデルを被験者とし、唾液を基にストレス度の測定を行いました。本試験は ZERO の使用前と使用 60 分後のストレス度の比較となっています。

測定機器：(株)ニプロ製 アミラーゼモニター /2018.04 遠赤外線応用研究会

検証商品	使用前	使用60分後	増減値
ZERO	49	44	-5

(単位: KIU/L)

わずか 60 分でストレス値が使用前よりも約 13% 減少。
健康の目安である「ストレス度」の軽減効果が期待できます。

抗酸化力向上試験

健康なモデルを被験者とし、唾液を基に酸化還元電位の測定を行いました。本試験は ZERO の使用前と使用 60 分後のストレス度の比較となっています。

測定機器：(株)リブアンドラブ製 酸化還元電位測定器 /2018.04 遠赤外線応用研究会

検証商品	使用前	使用60分後	低減値
ZERO	86	75	-11

(単位: mV)

わずか 60 分で酸化数が使用前よりも約 11% 減少。
アンチエイジングに重要な「抗酸化力」の向上効果が期待できます。

PM2.5 除去効果試験

60L のボックス内に 60,000 個 /cc 濃度の PM2.5 微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度の測定を行いました。ZERO をボックス内に入れてある場合と入れていない場合の 2 通りで比較しております。なお、左記の表記数値は PM2.5 の初期濃度を 100% として減少の割合を連続測定した数値です。

測定機器：DYDOS CORPORATION 製 DC110 プロ B 型 /2018.04 遠赤外線応用研究会

項目	経過時間			除去率
	初期濃度	30分後	60分後	
ZERO	100	75.2	60.7	39.3
空試験	100	93.4	86.7	13.3

(単位: %)

通常時に比べ、60 分間で除去率に 26% もの差が出ています。このことから PM2.5 の除去にも効果があることがわかります。

脳波測定試験

健康なモデルを被験者とし、ZERO の着用の有無によって脳内にどのような変化が起こるのか検証を行いました。ZERO ペンダントの着用前と着用後の脳波を測定しています。

測定機器：フットテクノ製 ALPHA MASTER/2018.06 遠赤外線応用研究会

	着用前	着用後	増減値
α波	15	31.7	+16.7
β波	81.7	60	-21.7
θ波	3.3	5	+1.7

(単位: mV)

60 分間で脳内 α波が倍増しており、非常にリラックス効果が高いことがわかります。β波についても 20%以上軽減され、ストレスや緊張を緩和しています。このことからリラックス効果・ストレス軽減効果があるといえます。

睡眠改善効果試験

ZERO の使用による睡眠時の変化について検証を行いました。健康なモデルを被験者とし、睡眠時間が約 8 時間の状態を測定しています。ZERO マットを枕の下に敷いた場合と敷いていない場合で比較を行いました。

測定機器：株式会社タニタ製 睡眠計スリープスキャン /2018.06 遠赤外線応用研究会

	枕のみ	ZERO Mat使用	平均増減値
入眠潜時	14分00秒	9分00秒	-5分
覚醒(中途覚醒)	1時間13分00秒	1時間2分30秒	-11分
深睡眠	1時間20分00秒	1時間32分30秒	+12分30秒

平均して ZERO 使用時には入眠潜時が約 30% 早くなりました。中途覚醒についても減少し、深睡眠時間も増幅させています。このことから ZERO を使用することで「睡眠改善」の効果が期待できることがわかります。

上記の結果から様々な効果が証明されましたが、限られた時間の中で検証を行っています。

長年に渡って継続使用することで更なる効果を期待することができます。

より詳細な情報につきましては弊社ホームページをご覧ください。

※効果の体感には個人差があります。

※検証結果については供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果ではありません。



株式会社ハッピートーク

HAPPY TALK Co., Ltd.

〒424-0038 静岡県静岡市清水区西久保40-33

TEL: 054-364-5455 FAX: 054-371-3600

URL: <http://www.happy-talk.co.jp>

